

山行報告書

日時	2015年1月24日(土)～25日(日)		
山名	県連登山学校 グループH 九重 雪山実践講習		
CL	木下(県連)	参加者	高野、阿部 (2名)
(コース)	<p>1月24日 19:00-22:00 阿蘇乙姫別荘にて次回蒜山装備品確認</p> <p>1月25日 久住雪山実践講習 歩行距離 9.3km 行動時間 9:44 標高差+1266m -1136m</p> <p>乙姫発6:30～赤川登山口駐車場7:46～久住・稻星分岐12:22～稻星山12:46～ビーコン・サーチ練習13:13/56～御池(確保練習)14:10/15:12～久住山15:36～赤川登山口駐車場着・総評17:29/45</p> <p>クランボン・スノーシュー(ワカン)脱着 ビーコン・サーチ練習(十字法による5分以内発見) コンティニュアンス・クライミング 東京方式 ビッケルをロープ輪に予め通して歩き、確保時の雪面に突き刺す (咄嗟の滑落に対応するのは難しい) 大阪方式 ループにしたロープをハーネスに着けたカビナに通して肩絡みして、滑落時にロープを流しながら制動する。 (雪質が固い時や咄嗟の滑落に対応しやすい)</p> <p>スタンディング・アックス・ピレイ デットマン支点工作(埋設したアイスアックスの中央にロープを結びつけ支点工作を行う) 強風時のツェルト使用の一時退避(ツェルトが飛ばされないようにカビナ等に繋げる)</p>		
(コメント)	<p>今回の久住山行は2月に行われる蒜山の予行練習との思いで臨みました。最近長時間の山行をしていないので、体力的に不安がありましたが、どうにか最後まで問題なく完歩できたことは蒜山への不安が一つ消えてきたことは私にとって収穫でした。要所要所での講習ではまだまだ覚えることが多くあることを実感し、一つ一つを繰り返し練習し身に着けなければならないと感じています。所属の会に戻って、山へ会の人をリーダーとして引率していくためには最小限に必要なスキルと考えています。実践講習もあと蒜山を残すばかり、受講生の皆さん、共に最後の難関を乗り越えましょう!! 高野 記</p> <p>スノーシューの脱着はかなりスピーディーに行えるようになりましたが、クランボンの着脱はまだ手間取って時間が掛かってしまいました。また、歩行中のクランボンが外れてしまいました。もし岩稜帯であったら致命的なミスとなってしまいますので、事前に調整を確認しておくべきだったと反省しました。今回習いました雪山での確保方法を落ち着いて実践できるように所属会においても繰り返し練習していきたいと思いました。 阿部(哲) 記</p>		
費用概算 (交通費) (その他)	<p>交通費 ¥1700/人 別荘宿泊費 ¥500 内牧温泉¥100 黒川温泉 ¥500</p>		



ビーコン・サーチ練習



スノーシュー・ワカン歩行トレーニング